

日本キリスト教団 土佐教会

週報<在宅礼拝版>

新型コロナに関する土佐教会の対応について

役員会は8月17日、高知県が警戒レベルを「特別警戒」に引き上げた(16日)ことを受けて協議した結果、礼拝は教会に集わない在宅礼拝とし、その他の集い及び活動も原則休会、延期することに致しました。

さらに県は「緊急事態宣言」に引き上げ(20日)、27日からは「まん延防止等重点措置」の対象に加えられました。今もなお感染拡大は厳しい状況にあると受け止めています。

予防対策をゆるめずに徹底してまいりましょう。感染のリスクが高い行動は慎みましょう。不要不急の外出を極力控えましょう。どうか、引き続いてのご理解とご協力をお願い致します。

「在宅礼拝」について

- 出来る限り同じ時間、同じ順序で礼拝を守りましょう。
- 讃美歌や聖書の用意のない方は、事前に教会にお知らせくだされば準備させていただきます。
- 献金は在宅礼拝毎に献げるように心がけ、月次などと併せて次に教会に行く時に献げましょう。

聖霊降臨節第16主日 礼拝順序

日時 9月5日(日)午前10:30～11:15

場所 各自の居場所/礼拝堂

司会：中山耕平

講壇：成田信義

奏楽：下村久美

黙 禱

讃美歌 351(1,3) ♪ 聖なる聖なる

主の祈り

聖 書 ルカによる福音書 13:6～9
(新 p,134)

お 祈 り

福音告知 「もう一年、もう一度」

讃美歌 412(1,2) ♪ 昔 主イエスの

献 金

讃美歌 521(1,4) ♪ とらえたまえ、われらを

黙禱(祝禱)

○ 聖書 ルカ 13:6～9(新共同訳 新 p,134)

そして、イエスは次のたとえを話された。「ある人がぶどう園にいちじくの木を植えておき、実を探しに来たが見つからなかった。そこで、園丁に言った。『もう三年もの間、このいちじくの木に実を探しに来ているのに、見つけたためしがない。だから切り倒せ。なぜ、土地をふさがせておくのか。』園丁は答えた。『御主人様、今年もこのままにしておいてください。木の周りを掘って、肥やしをやってみます。そうすれば、来年は実がなるかもしれません。もしそれでもだめなら、切り倒してください。』」

○ 「主の祈り」

天の父よ

み名があがめられますように。み国が来ますように。

みこころが天で行われるように、

地上でも行われますように。

わたしたちに今日も、この日の糧をお与えください。

わたしたちに罪を犯した者をゆるしましたから、

わたしたちの犯した罪をおゆるしてください。

わたしたちを誘惑から導き出して、

悪からお救いください。

み国も力も栄光も

とこしえにあなたのものだからです。

アーメン



○ お祈り

下記のことを覚えていただき、各自自由にお祈りください。一人一人のお祈りを等しく汲み上げてくださる主が、御心と祝福をもって応えてくださいますように。

・新型コロナ感染拡大が一日も早く終息しますように。癒されますように。拡大防止や終息のために、各分野の最前線に従事している方々が支えられますように。感染症対策に誠実に取り組んでいきますように。各自が担う尽力、自粛、忍耐が豊かな実を結びますように。

・残暑が厳しい日々、教会につながる方々、互いにお祈りに覚える方々の日々の歩みが守られ、支えられますように。

【予告】

◇ 9月12日(日)

- ・ 礼拝 (在宅) 午前 10:30～11:15
讃美歌 : 17(1,4)、51(1,3)、494(1,3)
聖書 : ルカ 12 : 4～7 (新 p,131)
福音告知 : 「恐れるけれども、恐れぬ」
高橋伸明伝道師

○ 福音告知

しばらく、主イエスの譬えに聴いていきます。
ぶどう園に植えられているいちじくの木が、実るはずの3年間をすぎても未だ実りません。いちじくはぶどう園で脇役ですが、主人は期待して待ち続けていました。主人は園丁に問い詰めます。「3年過ぎても、いちじくの木に実が見当たらない。もう切り倒してしまえ。土地を無駄にふさがせておくつもりか。」園丁は応えました。「ご主人さま、今年もこのままにしておかせてください。木の周り掘り、肥やしをやってみます。来年こそ実ります。もし、それでもだめなら切り倒してください。」という譬え。

果たして翌年は実ったのかどうか、余韻が漂う終わり方です。この譬えが語られた背景には、今すぐ悔い改めるべきとの切迫感がありました。権力者は横暴を極め、災難も相重なり、悔い改めるべき犯人探しに殺気づいている人々に、この譬えが語られています。3年間実がならないいちじくの木を切り倒せという主人に対して、園丁は「もう一年このままに…。それでもだめなら切り倒してください」と懇願しています。主人も園丁も忍耐して待っていること、さらに実らなければ切り倒す存在である点は共通しています。ただ、園丁のいちじくの木に対する思い入れは尋常ではありません。もう一年と懇願するだけでなく、本気で実ることを信じてあきらめないのですから驚きです。実らないいちじくの木は自分達のことだと気づいて、人々は憤慨したのでしょうか。園庭を嘲笑うのでしょうか。それとも…。この譬えの余韻に、心を入れ替え方向転換すべきは、誰か？ 何時か？を聴くべきではないでしょうか。(成田)

【報告】

- (1) 29日礼拝—出席17名、献金13,500円。
- (2) 29日礼拝は「特別講壇」といたしまして、講壇に田村隆明牧師をお迎えしての礼拝でした。感謝！
- (3) 先週の週報に誤りがありました。お詫びして訂正します
 - ・「礼拝順序」の欄の講壇の担当者:成田信義→「田村隆明」。
 - ・「報告」の欄の(3):「7名」→「8名」。
- (4) 聖泉幼稚園より—1日、2学期が始まり17名の園児が元気に当園しました。新型コロナや熱中症の予防対策をしながらの保育が守られますようにお祈りください。なお、9月の園庭解放と子育てサロンは予防対策として休会します。

【お知らせ】

- (1) 礼拝献金袋を送付させていただきました。在宅礼拝の期間、礼拝毎の献金にご活用下さり、次に教会に行く時に献げましょう。
- (2) 教会事務室及び幼稚園職員室で、各種献金をお預かりすることが可能です。ご用命の際は事前にお電話くださると確かです。